

甲州市立塩山北小学校・・・7月1日（水）訪問

訪問者：小宮山 公仁

塩山北小学校は、甲州市の中央北に位置し、学校の西には塩山の名前の由来ともなっている緑深き塩の山があります。学校教育目標に『心豊かで生きる力のある子ども』を掲げ、「思いやりのある、心豊かな子ども」「自分で考え主体的に判断して、行動できる子ども」「体をきたえ、生命を大切にする子ども」の育成を目指しています。また、日本教育工学協会（JAET）の学校情報化優良校に認定され、ICT 機器を活用した学習活動の推進に取り組むとともに、授業時数特例校として外国語教育の時数を増やし、特色を生かした学習活動を展開しています。

今回は、やまなし小学校教育コース1年の古屋咲々菜さんが、4年生の教室で教育ボランティアとして活動している場面を訪問しました。算数の授業では、担任の新藤先生が授業を進めている中、児童の様子を見とり、指導を必要としている児童のそばに行き、丁寧にサポートしている姿が印象的でした。児童たちからも「咲々菜先生、教えて」と声をかけられ、信頼されていることが伝わってきました。



「優しくて、いつも笑顔だよ!」

児童に寄り添い、支援する古屋さんの様子



「困っていると教えてくれるよ!」

【教育ボランティア学生インタビュー】

「教育ボランティアをやってよかったと思うことは何ですか？」

大学では学べない現場での気づきや学びをたくさん得られることです。先生方から「ありがとう」「助かったよ」と声をかけていただくたび、学校の力になれていることを実感し、やりがいを感じています。

「教育ボランティア活動を通じて気づいたことや、受け入れ先の先生方や子どもたちから学んだことは何ですか？」

先生方が日頃から連携を取りながら子どもたちを学校全体で支えている様子を見て、コミュニケーションの大切さを実感しました。「チーム学校」の重要性を肌で感じています。

「これから教育ボランティア活動を始めようと考えている学生へのアドバイスは？」

常に目標となる先生方が身近にいて、直接学ぶことができるので、非常に貴重な経験をさせてもらっています。大学での学びを深めることにもつながるので、ぜひ積極的に参加してほしいです。

【山田 浩校長先生のお話】

年度当初「学生ボランティア」の話が来たとき、二つ返事で受け入れを承諾しました。それは、昨年度、別の学校（東雲小学校）で2名の学生ボランティアを受け入れ、子どもたちの支援にも役立ち、校内の活性化にも繋がったからです。現在、大学1年生の古屋さんが、将来の夢である教員を目指すためのステップとして、本校の4年生の学級で活動しています。授業中は、きめ細やかな指導補助で、つまずきのある児童を素早くサポートし、担任からも感謝の声が寄せられています。また、休み時間も積極的に児童と関わり、深い信頼関係を築き上げてくれています。この貴重な現場経験を、ぜひ今後の大学での学びに活かしてほしいと思います。

教育ボランティア活動を受け入れ、様々なご配慮をいただいている塩山北小学校の先生方に感謝いたします。